

【注意事項】

R20TS0454JJ0100

Rev.1.00

2019.07.01 号

統合開発環境 e² studio

概要

統合開発環境 e² studio の使用上の注意事項を連絡します。

1. 「選択したファイルのビルド」および「選択したファイルのクリーン」を使用する場合の注意事項

1. 「選択したファイルのビルド」および「選択したファイルのクリーン」を使用する場合の注意事項

1.1 該当製品

統合開発環境 e² studio V7.3.0 および V7.4.0

1.2 該当デバイス

- RXファミリ（CC-RXを使用する場合）
- RL78ファミリ（CC-RLを使用する場合）

1.3 内容

「プロジェクト・エクスプローラー」ビューで、ソース・ファイルを右クリックして、コンテキスト・メニューから「選択したファイルのビルド」メニュー、または「選択したファイルのクリーン」メニューを実行した時、選択したファイルのコンパイル、またはオブジェクト・ファイルの削除が実行されない場合があります。また、メニューの選択にはショートカットキーを使用する方法もあります。

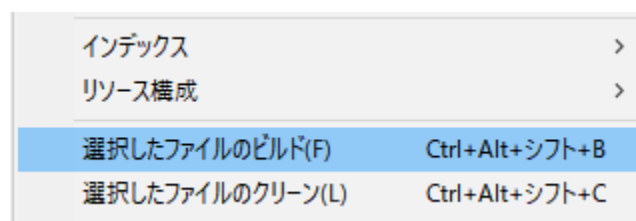


図1 「選択したファイルのビルド」メニュー選択時の画面例

なお、ソース・ファイルのコンパイルまたはオブジェクト・ファイルの削除が実行されない場合でも、「コンソール」ビューでは処理の実行開始と実行終了のメッセージは表示されます。

1.4 発生条件

“ロード・モジュール・コンバータを実行する”が設定されている場合に発生します。

なお、“ロード・モジュール・コンバータを実行する”は、図2に示すようにビルドオプション（C/C++ビルド→設定）で、「Converter」→「出力」→“ロード・モジュール・コンバータを実行する”をチェックすると設定されます。

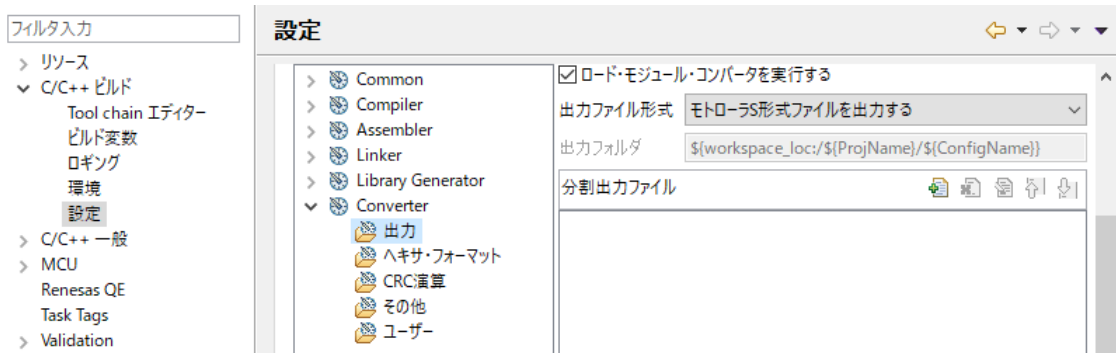


図2 “ロード・モジュール・コンバータを実行する”設定画面

1.5 回避策

“ロード・モジュール・コンバータを実行する”のチェックを外して「選択したファイルのビルド」メニュー、「選択したファイルのクリーン」メニューを実行してください。

各メニューは、以下の正しい動作を行います。

メニュー名	正しい動作
選択したファイルのビルド	選択したファイルのコンパイルを実行します。 リンクは実行しません。
選択したファイルのクリーン	選択したファイルのコンパイル後に生成されるオブジェクト・ファイルを削除します。

1.6 恒久対策

2019年7月のバージョンアップで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Jul.01.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。